

【シラバスⅠ】令和8年度 学習計画・学習評価計画書

教科名	理科	科目名	(学)化学基礎特論	単位	1
学年	2	組	1～5組	担当	新井・作道・古屋・大木
教科書	化基703「化学基礎 academia」「化学 academia」実教出版				
目的と目標	科目「化学」の学習を見据え、「化学基礎」の学習活動をより一層充実させ、思考力・表現力の育成を図る。(1)日常生活や社会、基礎研究や工業的な利用との関連を図りながら、物質とその変化についてより深く理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する発見的な技能を身に付けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
コンピテンシー	【知識】【説明力】【論理的思考】【課題発見】【課題解決】【協働力】【計画管理】【探究心】【挑戦力】				
授業と学習について	予習として教科書を読み、副教材(セミナー)のプロセスやドリル、基本例題に取り組むとよい。 復習として授業プリントや板書と教科書を読み、副教材基本例題、基本問題、発展例題に取り組み、習熟度に応じて発展問題に挑戦するとよい。 日々の授業での疑問点の解決は先送りせず、その週内に解決することを習慣づけるとよい。				

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
4月	3章 1節 物質と化学反応式 (4)化学反応式 参考 基本法則に関連した化学史 3章 2節 酸と塩基 (1)酸と塩基 実験・観察	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
5月	3章 2節 酸と塩基 (2)水素イオン濃度とpH (3)中和反応と塩の生成 (4)中和滴定 定期考査	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
6月	3章 3節 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤 (3)酸化還元反応の起こりや 実験・観察	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
7月	3章 3節 酸化還元反応 (4)身の回りの酸化還元反応 終章 化学が拓く世界 定期考査	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
8月	1年～7月のまとめ			○	
9月	1章 1節 状態変化 2節 固体の構造 3節 気体の性質 1 熱運動と気体分子 実験・観察	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
10月	1章 3節 気体の性質 2 気体の状態方程式 定期考査	○ ○	○ ○	○ ○	
11月	1章 4節 溶液 1 溶解 2 溶解度と溶解平衡 3 希薄溶液の性質	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
12月	1章 4節 溶液 4 コロイド溶液の性質 定期考査	○ ○	○ ○	○ ○	
1月	2章 1節 化学反応と熱・光エネルギー 実験・観察	○ ○	○ ○	○ ○	
2月	4章 1節 有機化合物とその構造 2節 脂肪族炭化水素 実験・観察	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
3月	2年生のまとめ 定期考査	○	○	○ ○	